

R2校長室だより 第10号 令和2年 10月

HP アト・レス

http://www.ozeki.ed.jp

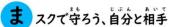
爽やかな秋空! 校外での体験活動を楽しんでいます!!

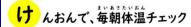
校長 濱辺

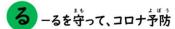
先月の運動会には、たくさんの保護者の方々やおじいちゃん・おばあちゃんが、応援のためにご来校くださりあり がとうございました。皆様方のご声援に応えるかのように 児童も持っているもの以上の頑張りを発揮し、すばらしい 運動会になりました。また、後始末にもご協力をいただき、 お陰様で、短時間の内に終えることができました。心より 感謝申し上げます。

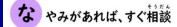
さて、10月に入り、爽やかな秋空が多くなりました。 10月は、5年生の自然教室や6年生の修楽旅行、各学年 の校外学習が目白押しです。教科書や写真ではなく、「本 物」を見る、触れる、体験することによって得られたもの は、克明に脳細胞に刻まれます。この経験が、子どもたち の知的好奇心の基となり、今後の主体的な学びに繋がると考えています。さらに、自然教室には、日常の学校生活では気づかなかった友達の新たな面を見つけることができた。 り、集団として気持ちよく生活するために、自分のするべ

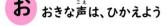


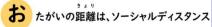


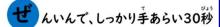


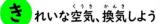














きことに責任をもって取り組んだり、互いに心を配ることができたりと、 子どもたちの反 長には欠くことのできない多くの学びがあります。新型コロナ感染防止対策も忘れずに行 い、充実した学習ができるように、計画・実践していきたいと思っています。

5年生の1泊2日の自然教室

5年生は、10月7日・8日に、芦原青年の家へ宿泊体験「自然教室」に出かけました。強風という天候不 順のため、予定していたサイクリングとカヌー体験は中止となりましたが、レザークラフトやウォー グクイズラリーを行いました。集団のでの活動は、自分のことより集団でのことを優先しなければなら ないので、時間を気にしながら、周囲の状況を見ながら、一生懸命活動していました。このようにして、 大関小学校のリーダーとしての資質を身につけていきます。今後の5年生の活躍を期待したいもので す。



くディスクゴルフ>







<ウォーキングクイズラリー>

10月2日(金) 2年生が、生活科「みんなでつかうまちのしせつ」の学習のために、エンゼル ランドと坂井図書館に行きました。「うごくおもちゃ」のプログラムに参加し、なんの力で動くの かを学習し、実際に、5つのコーナーに分かれて遊びながら考える体験をしました。子どもたち には、科学的好奇心を十分にふくらませることができた校外学習になりました。







『ペッパー』が先生となって、防災に関して教えてもら

10月8日(木) ソフトバンクグループが開発した人型ロボット「Pepper(ペッパー)」を補助 教師にした防災教室を、4年生が体験しました。ロボット先生から災害(地震が起きた)時の注 意点や取るべき行動を学びました。大型モニターに被災地の映像などを映し出しながら授業を進めるペッパー。児童らは最初は戸惑いつつも、手ぶりを交えて語るペッパーの「授業」に引き込 まれていき、「地震が起きたとき、どんな行動をすればいいか?」ということを、考えながら学ん でいました。ペッパー、すてきな授業をありがとう。







大脚台各连切言

『あなたに贈りたい言葉~笑顔の近道』(PHPのびのび子育710月特別増刊号) から、医師で 2児の母の須 藤晄 子さんのこんな言 葉と見つけました。 笑顔になれるメッセージです!

♡ 怒ってしまうあなたへ 子どもの寝顔を見て涙する。烈火のごとく子どもに怒ってしまう自分が嫌で。私が本当に怒りたいのは子どもたちじゃなくて、私自身。母になったのに、自分のペースを乱されることを許せない自分。もしもあなたも一緒なら、少しだけやさしくしてあげてほしい、「あなた自身」に。「今は少しペースを落としてもいいんじゃない?」って、自分を許してあげよう。こうやって悩んでいるあなたは、ちゃんと誰よりも優しいから。

♡ 比べてしまうあなたへ

人は、いいところを見せようとする。でもきっと、みんな大して変わらない。誰かと比べて自分を責めるぐらいなら、あふれる情報をグルグル巻きにしてポイってしてみて。時代遅れだっていいのだから。昔の自分だってもう他人。この子がいる、今のあなたが最高。そう気づけば、どこの芝生より青々と茂る。だから安心して、比べなくていいよ。

のだから。

♡ 反省してばかりのあなたへ

「またおなじことをしてしまった」と、涙を流さなくてもいいよ。繰り返しているように思えても、同じじゃない。その反省は、優しいあなたが「頑張っている証」。反省が一つなら、成長だって一つ。それが百回なら、とてつもなく大きな財産になるのだから。